

ビル&キープ方式の原則化に係る 事業者間協議の会合設立について

KDDI株式会社

2026/09/28

※本資料では敬称を省略しております

1. はじめに

「ネットワーク環境の変化を踏まえた接続政策等の在り方 第一次答申」(令和8年9月4日付け)において

「委員会における検討に加え、構造的に片務的となる呼の精算方法の詳細等、ビル&キープ方式の原則化に向けた運用面の具体化にあたっては、必要に応じて、総務省も関与する形で事業者間の協議の場を設けて検討を進めることが適当である。」

と答申されたことを受け、以下事業者・業界団体発起のもと、**ビル&キープ方式の原則化に向けた運用面を具体化し、その実現に向けた諸課題について検討**を行う目的で、有志による事業者間協議の場を設置いたしました。

本日は、(1)会合の運営体制 および (2)会合の検討事項・検討範囲についてご報告いたします。

<発起会社・業界団体>

NTT東日本株式会社
NTT西日本株式会社
株式会社NTTドコモ

KDDI株式会社
ソフトバンク株式会社
一般社団法人電気通信事業者協会(TCA)

2. 報告事項(1)会合の運営体制

項目	内容
設置方式	● 有志事業者による会合として設置 (TCAが事務局として会合をサポートし、オブザーバとして総務省も参加)
主査会社	● KDDI株式会社
参加対象事業者	● 既存の音声接続事業者 および 接続予定事業者 (TCA非会員を含め、必要な事業者に広く参加機会を設ける)
参加対象事業者 への周知 (予定)	● TCA会員に対しては、TCA内で周知 ● その他TCA非会員を含む関係事業者に対しては、以下のとおり周知 ✓ 既存の音声接続事業者：音声系サービスの事業者連絡会内で周知 ✓ 接続予定事業者：協議中のTCA会員から声掛け ✓ MVNO：ホストMNOから声掛け ※TCAウェブサイトエントリー窓口を設け、上記以外の事業者も広く参加可能とする予定
検討スケジュール	● 2027年3月末頃までに一定の結論を導く事を目指す (10月上旬頃に第1回会合開催予定)

2. 報告事項(2)会合の検討事項・検討範囲

項目	内容
検討事項	1. 構造的に片務的となる呼・サービスの洗い出し 2. ビル&キープ方式の対象外とすべき呼の精査・特定 3. 当該呼の精算方法の検討（「定額制」「レベニューシェア」等の具体的な精算方法など） 4. その他本会合の目的を達成するために必要な事項
検討範囲	● 各検討事項について可能な限り意見を集約・整理し、本会合の取りまとめ内容について事業者間で認識合わせを行う。 ● ただし、利害関係等から全事業者での合意は困難と想定されるため、完全合意を前提とはせず、必要に応じて会合の意見の取り扱い・整理等については総務省にも相談する。

<検討スケジュール案>

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フェーズ① 構造的に片務的となる呼・サービスの洗い出し							
フェーズ② ビル&キープ方式の対象外とすべき呼の精査・特定							
フェーズ③ 当該呼の精算方法の検討							

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

